

経営比較分析表（平成28年度決算）

神奈川県横浜市 馬車道地下駐車場

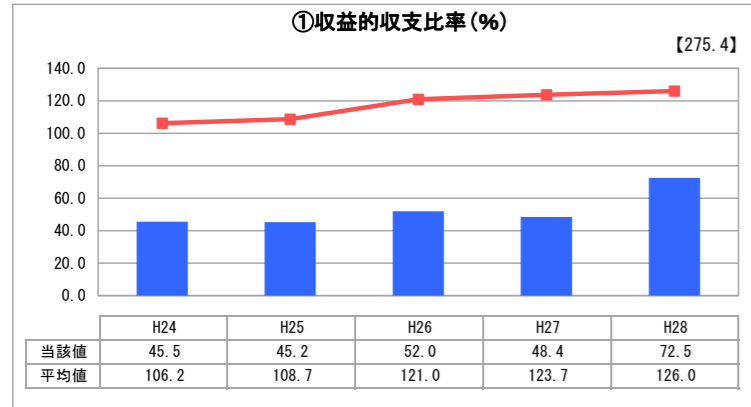
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	地下式	18	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
無	無	10,078
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
200	400	導入なし

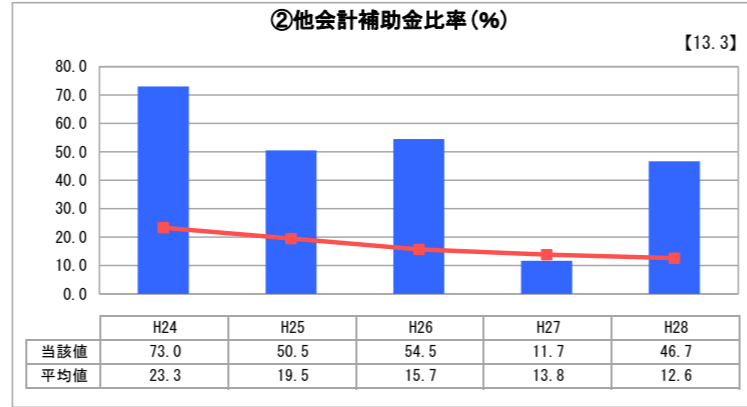
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

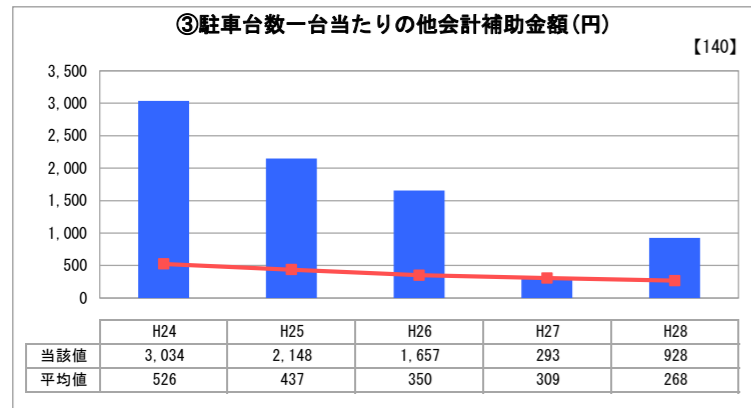
1. 収益等の状況



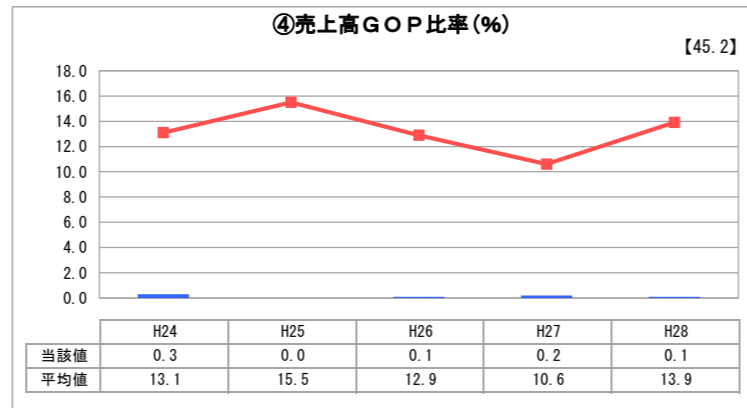
「経常損益」



「他会計補助金割合」

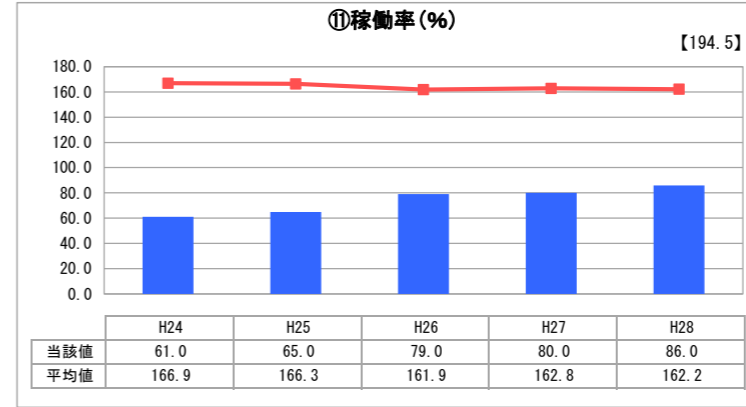


「他会計補助金額」

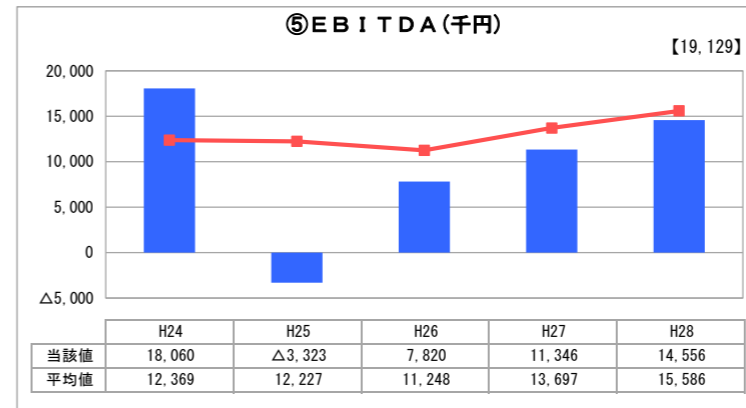


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

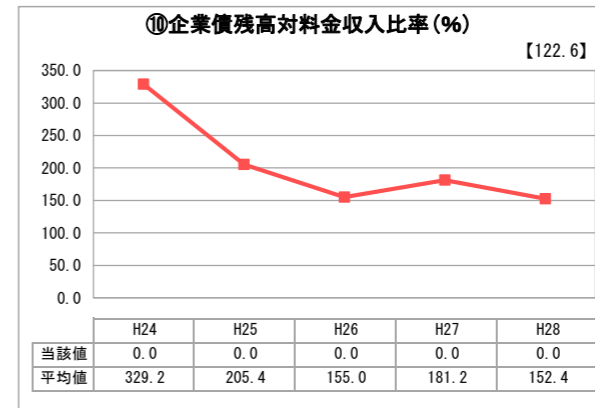
0

⑧設備投資見込額(千円)

96,629



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
「④売上高GOP比率」及び「⑤EBITDA」の数値が示すように、地方債の償還を除いた収益の状況については、多少の増減はありますが、横ばい傾向となっています。

駐車料金については、道路法第24条の2第1項及び第2項に基づき、本市の条例・規則で決めることになっており、その範囲の中でできる工夫をしながら、利用の増進を図っています。

2. 資産等の状況について

本駐車場は供用開始から年数を経ており、「⑧設備投資見込額」にあるとおり、今後施設の改良・修繕費等が見込まれます。

3. 利用の状況について

本駐車場の利用状況は「3 利用の状況 ①稼働率」にある通り、稼働率がほぼ横ばいの傾向となっています。

全体総括

本駐車場の状況については、「①収益的収支比率」が低く、「②他会計補助金比率」及び「③駐車台数一台当たりの他会計補助金額」では高い数値が示されています。これは地方債の償還について、他会計からの繰入金を充当していることによります。本駐車場については、地方債の償還が終了するまでは、収益の状況等は現状と同様に推移すると見込まれます。